

# 藤島武二《画稿帖》にみる西洋画学習について

児 島 薫

## はじめに

藤島武二（1867-1943）が1900年代前半におこなった雑誌『明星』や与謝野鉄幹、晶子夫妻と関わる仕事については、これまでに多くの先行研究がある。筆者は前回、拙論「『明星』時代の藤島武二—ミュシャとの関わりと《画稿帖》について—」<sup>1</sup>のなかで、これまでの指摘を踏まえ、ミュシャの図柄を引き写しして『明星』のコマ絵としていたのは藤島ではなく一條成美であったことを確認した。また藤島が海外の広告画などのグラフィック・デザインを縮図にして描き集めた《画稿帖》の内容の一部を紹介し、彼がアルフォンス・ミュシャの作品に限らずフェリックス・ヴァロットンを初めとする同時代の作家の作品を間接的であるにせよ見ており、様々な視覚情報を得ていたことを確認した。そしてその情報が画家でイラストレーターであるエミール・オルリックによってもたらされた可能性についても試論を述べた。

本稿では、前回掲載できなかった《画稿帖》の残りの頁を紹介し、それらの図の情報源についても前回同様に表にまとめ、それらが藤島作品にどのように活用されたのかについて考察する。

## 1. 《画稿帖》の後半について

《画稿帖》については前述の拙稿のなかで概要を述べているが、簡単に繰り返す。大きさは27.5cm×20cm、厚さ約1.5cm、既製の冊子ではなく、手製で綴じたもののようにみえる。頁数は振られていないが、本稿では便宜的に筆者がナンバリングをおこない、各頁の内容を表にまとめた。右開きで全93頁あり、今回は36頁以降について述べる。《画稿帖》には、藤島が目にしたであろう海外のデザイン画や広告画、雑誌の表紙絵などのイメージの縮図が、びっしりと描き込まれている。ほとんどは墨による線描であることから、留学前の若い年代に制作されたものと判断できる。またイギリスの雑誌『The Studio』復刻版と比較したところ、多くの図がそこから写されていたことがわかった。判明した原図は1897年12月から1901年2月に出版された号に掲載されたものであったことから、《画稿帖》もその時期、1900年前後に制作された可能性が高い。さらなる調査としては、『The Studio』だけではなく、やはり復刻版が出版されている同時代の雑誌『La Plume』などとも比較をおこないたいと考えたが、依然として新型コロナウイルスの感染拡大のために他機関の図書館で文献を閲覧、調査することができなかった。そのため、今回も『The Studio』復刻版との照合のみをおこない、別表にまとめた。後半部分における顕著な特徴として

は、洋書の表紙のエンボスの部分をフロッタージュしたとみられる頁が続くこと、また本の表紙のデザイン画を写したとみられる図が多数あることであり、そこから、藤島の本の装幀への関心の高さを読み取ることができる。

## 2. 原図との比較

《画稿帖》を前回紹介した残りの頁の順番に見ていこう。36、37頁は全ての図を水彩を用いて色鮮やかに写していることが目を引く。文字を手がかりにインターネット検索で情報を集めた結果、両頁の縮図の原画が判明した。ビアズレーの広告画は容易にわかるが、雄鶏の図は、Louis John Rhead による『Morning Journal』誌の広告画（1895年）から中央上部の部分のみを抜き出しており、文字も一部しか写していない（図1）<sup>2</sup>。藤島が全図から女性像を省いてこの部分を選び取った理由は不明である。他はベルギーの広告画である。37頁右下の「La Libre Esthétique Arts graphiques & Arts plastiques」と書かれた図はテオ・ファン・レイセルベルヘによる「ラ・リーブル・エステティーク」（自由美学）というグループの展覧会ポスター（1896年）<sup>3</sup>の模写である。石版画独特のざらっとした粒子や色の濃淡のほかしを的確に写している。左上の「アブサント・ロベット」（Absinthe Robette）のポスターは、人物の背景に植物模様やアルファベットなどを描いて画面を埋める図柄である（図2）<sup>4</sup>。このような画面構成から想起されるのは、藤島による《音楽六題》（1901-6年、水彩、紙、ひろしま美術館）（図3）である。これらの図では動きのある人物を取り上げ、その背景に植物模様を描きこんだり、文字を大きく配置したりしている。画面の大きさが約9cm四方であり、これらをもとに絵はがきが作られていることから、画家は印刷されることを意識して原画を描いたと考えられる。《音楽六題》をアブサントのポスターなどと比較するならば、藤島が人物と文字とを一画面に効果的に配置する手法をこうした作品から学び、応用した可能性を考えることができるだろう。

45頁から48頁までには、前半部分同様に、雑誌『The Studio』で募集したデザインのコンペティションの入賞作の図や写真からの模写が多く含まれている。デザイナーたちは、「ISCA」、「Rose Madder」など、筆名を用いて応募している。『The Studio』の誌面では、メニューカードのデザインのようなグラフィック・デザインは明瞭に白黒で印刷されている一方、立体的な工芸品の場合には白黒写真が掲載されている。《画稿帖》では模様の図柄のみに注意して線描で写し取っており、本来の素材の違い、写真と印刷の区別は、縮図を見る限りではわからない。逆に言えば、藤島の関心はデザインの構図にあり、素材の違いにはあまり注意を払わなかったのかもしれない。

49頁、50頁にはアルフォンス・ミュシャの作品の縮図がみられる。この部分は鉛筆で描かれているため経年で薄くなっており、図柄が見にくくなっている。51頁の上部にも花束を抱く女性の姿と草花が描かれており、原画がミュシャである可能性もあるが現在のところ同定できていない。その下部分から続けて数頁にわたり、洋書の表紙の型押しによって凹凸になっている部分を、紫、緑、赤などのパステルでフロッタージュして写し取ったものが続く。装飾模様の部分だけであったり、背表紙の一部であったり、様々な本から関心のある部分だけを集めている。なかにはラファエロやボッティチェリの名前が読み取れる部分があるため、美術書が含まれていたこ

とがわかる。この後の頁には、本のカバーデザインと見られるような縮図が多数続く。これらの多くは、『The Studio』の「Special Winter-Number 1899-1900, Modern Bookbindings and their Designers」という特集号に掲載されている装幀作例と一致する<sup>5</sup>。

本の表紙をフロッタージュし、ブック・デザイン案を多数写していることから、藤島が本の装幀に強い関心を持っていたことをうかがえる。実際に藤島は多くの本の装幀をおこなっている。1900年代初頭に装幀を担当した『みだれ髪』、『小扇』の場合は薄い表紙に木版刷りであるが、1910年代になると厚みのある表紙を持つ洋装本の装幀を手がけるようになる。与謝野晶子『春泥集』（金尾文淵堂、1911年初版）（図4）、与謝野晶子『青海波』（有朋館、1912年）（図5）では、色彩を一色、あるいは文字と合わせて二色程度しか用いることができない制約のなかで、表紙に四角の枠取りをし、曲線的な図柄で大きく画面を分割してダイナミックに構成している。『青海波』は天金で、文字の部分はエンボスにして金にしている。このような曲線を用い、エンボスを利用した表現は、藤島が《画稿帖》に写し取った多くのデザインを自身のものに消化したことによって生み出されたのであろう。

72頁の右2段目の図は、一見すると和本を写した縮図のように見えるが、A. Cuzin という人物がデザインした革装の分厚い本の写真を写したものである（図6）。この縮図と、藤島による与謝野晶子『晶子短歌全集』の表紙から裏表紙にかけて藤の花が配された装幀（図7）とを比較すると花の位置、大きさなどの構図に類似点を見いだすことができる。革装の本と『晶子短歌全集』は現物としては全く似ていないはずだが、藤島がA. Cuzinの装幀から、表紙から裏表紙までぐるりとつながる装幀、そして藤の花の模様の着想を得た可能性はあるだろう。

また藤島が「日本絵はがき展覧会」で賞状を受けた《三光》と題された絵はがき3点組にはエンボスが用いられている。その発想が藤島一人のものかどうかはわからないものの、洋書の表紙の凹凸のある装幀に着想を得て絵はがきにもエンボスを施した可能性があるのではないだろうか。

《画稿帖》の最後の方の87、88頁の図には、『The Studio』の「Children's Books and Their Illustrators, Special Winter-Number 1897-8」という特集号のイラストから写し取った図が何点か含まれている<sup>6</sup>。そのなかで一つ興味深いのは、87頁下の鳥が群れ飛ぶ図である。原画はロシアの物語の挿図（図8）であり、画面の中では鳥は中心的な要素ではないにも関わらず、藤島はなぜか人物や風景を除き、鳥だけを写している。

### 3. まとめ

一昨年の「『明星』時代の藤島武二—ミュシャとの関わりと《画稿帖》について—」で紹介した《画稿帖》の前半部分の分析でも述べたことであるが、後半部分からも藤島が『The Studio』のような印刷物に掲載された挿図を通して多様な海外のデザインを吸収し学んでいた様子をうかがうことができる。『The Studio』以外にも、フランスだけでなくベルギー、ドイツ、アメリカなどやはり様々な言語の印刷物を目にして写していたことが明らかだが、藤島が実物を見て縮図を描いたのか、あるいは雑誌などに複製された写真などから模写をおこなったのかは現段階では判断することができない。いずれにせよ藤島はこうしたものから、絵はがきのような印刷物、ある

いは本の装幀のような、他人の手や工程を経て作られるものにおけるデザインの効果を冷静に研究していたのであろう。なかでも本の装幀に関しては強い関心を寄せているが、それを応用した自身の制作では日本のモチーフを材料としながら簡潔なデザインを創り出している。

ところで《画稿帖》に収録されたような印刷物を見たのが藤島だけだったのか、という疑問が最後に残る。藤島ほど熱心ではなかったかもしれないが、他の画家も見ることができた可能性があるのではないだろうか。そのようなことについても、今後もう少し調査を進めることができればよいが、ひとまず《画稿帖》の内容の紹介を終える。

付記 《画稿帖》について掲載をお許しくございましたご所蔵者に心より感謝を申し上げます。また藤島武二《音楽六題》の画像使用をご許可下さいましたひろしま美術館にお礼を申し上げます。

なお、本稿は、科学研究費助成事業（科学研究助成基金助成金）（基盤研究（C））、課題番号18K00193として行った研究成果の一部である。

#### 註

- 1 実践女子大学文学部美学美術史学科紀要『美學美術史學』34号、2020年3月、p.81-97。
  - 2 Metropolitan Museum of Art が同作を所蔵しデータを wiki に提供している。（[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Morning\\_Journal\\_MET\\_DT8570.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Morning_Journal_MET_DT8570.jpg)）。
  - 3 ベルギー、イクセル美術館に所蔵品があり、画像はそこからダウンロード可能である。<http://www.museedixelles.irisnet.be/images/expositions/collection-trip/Theo%20Van%20Rysselberghe-La%20Libre%20Esthetique%20-%20Arts%20graphiques%20-%20Arts%20plastiques%20-%201896-%20Musee%20dIxelles%20-c-%20photo%20Mixed%20Media.jpg/view>
  - 4 画像は Wiki commons にあり、利用可能である。[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Privat-Livemont\\_-\\_Absinthe\\_Robette,\\_1896.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Privat-Livemont_-_Absinthe_Robette,_1896.jpg)
  - 5 この号の全文は以下のサイトに公開されている。[https://brittlebooks.library.illinois.edu/brittlebooks\\_open/Books2009-03/0001modboo/0001modboo.pdf](https://brittlebooks.library.illinois.edu/brittlebooks_open/Books2009-03/0001modboo/0001modboo.pdf)
  - 6 この特集号の内容は、こちらに公開されている。<https://www.gutenberg.org/files/27112/27112-h/27112-h.htm>
- \* 以上のサイトは2021年12月6日に最終確認をおこなった。

《画稿帖》の内容（後半部分）

頁		
	一頁ごとに右上、左上、右下、左下の順番で描かれている内容を述べる。判読できる文字を転記するが、スペルが間違っている場合も基本的にそのままとする。	判明した縮図の典拠等を記す。雑誌『The Studio』に原図がある場合には（S: 号数、発行年月、頁）と略記し、ポスターなどの出版データを特定のインターネットサイトで確認した場合に url を（ ）内に記した（2021年12月6日最終確認）。
36	広告画3種、水彩で着色。「CIRQUE ROYAL/ CONCERTS YSAYE/ PREMIER CONCERT/」 「AUBREY BEARDSLEY」 「GRANDE BRASSERIE/ VAN VELSEN FRES. BORNHEM」。	右上はアンリ・ムーニエ（Henri Meunier）によるヴァイオリニスト、ウジェーヌ＝オーギュスト・イザイ（Eugène-Auguste Ysaÿe, 1858-1931）のベルギー、ブリュッセルのCIRQUE ROYAL ホールでの1896年1月5日のコンサートポスター（デューク大学ネイシャー美術館 <a href="https://nasher.duke.edu/artwork/1566/">https://nasher.duke.edu/artwork/1566/</a> ）、左上はオーブリー・ピアズレーによる出版広告「Publisher. Children's Books 1894」（Stephen Calloway and Caroline Corbeau-Parsons, <i>Aubrey Beardsley</i> , Tate, 2020）。下段はAndre Louis Armand Rassenfosseによるブラッスリーの広告画。（シラキューズ大学美術館 <a href="https://onlinecollections.syr.edu/objects/11992/poster-for-grand-brasserie-van-velsen-fieres-bornhem">https://onlinecollections.syr.edu/objects/11992/poster-for-grand-brasserie-van-velsen-fieres-bornhem</a> ）
37	広告画4種、水彩で着色。上段右:「MORNI/ JOURNA」、上段左:「ABSINTHE ROBETTE」、下段右:「La Libre esthétique/Arts graphiques & Arts plastiques」、下段左:「ASSOCIATION DE BEL/ PHO/EX/ INT/D'A/ PHOT」。	右上、雄鶏に朝日の図柄は Louis John Rhead による“Morning Journal”の広告画（1895年）の一部。（Metropolitan Museum of Art 所蔵品 <a href="https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Morning_Journal_MET_DT8570.jpg">https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Morning_Journal_MET_DT8570.jpg</a> ）左上はアンリ・プリヴァ＝リヴモン（Henri Privat-Livemont）によるアブサントの広告画（1896年）（アメリカ議会図書館所蔵品。 <a href="https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Privat-Livemont_-_Absinthe_Robette,_1896.jpg">https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Privat-Livemont_-_Absinthe_Robette,_1896.jpg</a> ）右下原画はThéo van Rysselbergheによる石版画ポスター（1896年）（アメリカ議会図書館所蔵品 <a href="https://www.loc.gov/pictures/item/93506832/">https://www.loc.gov/pictures/item/93506832/</a> ）左下は、ベルギーの写真団体の1896年4月開催第2回展の広告画。作者はAuguste Donnay（1862-1921）「ASSOCIATION BELGE DE PHOTOGRAPHIE DEUXIÈME EXPOSITION INTERNATIONALE D'ART PHOTOGRAPHIQUE」（アメリカ議会図書館所蔵品 <a href="http://loc.gov/pictures/resource/cph.3g14229/">http://loc.gov/pictures/resource/cph.3g14229/</a> ）
38	（余白）	
39	縁取りのデザインか、数種。右下に「S.NICHO」。	墨でアール・ヌーヴォー風のデザイン。
40	家具の装飾画のサンプルか、4種。	
41	アルファベットと数字のレタリング。	
42	植物模様、動物模様十数種。	
43	上段: 群蝶を輪郭のみで描く。下段: 花鳥のデザイン。	
44	ステンドグラス風のデザインなど。	
45	ステンドグラス風のデザインなど。	下段右の椿の模様の図、下段中の魚の図は、Alexander Gascoyne, “Stained Glass” (S: no. 105, December 1901, p.172.) 下段左の女性の顔は、Ann Macbeth, “Portion of a Sideboard Cloth” (S: no. 105, December 1901, p.186.)



46	女性の姿を配したメニューカードのデザインなど11種。	上段左の女性の姿はメニューカードのデザイン“ISCA”(HON. MENTION (COMP. B XIII) (S: no. 108, March 1902, p.153)、上から2段目右、中は装飾デザイン部門2等賞“ISCA”。(S: no. 105, December 1901, p.225)、3段目右、中は(同、“ELBERFELD”, p.227)、上から4段目右2点は“Rose Madder”、“Granta”による、最下段は“FIAT LUX”による団扇(hand screen)のデザイン。(S: no. 112, July 1902, p.149-152.)
47	右上から植物、鹿を追う猟犬の連続模様、鳥と樹木と蝶の模様、トンボ・鳥・植物・魚を用いた縁飾り、などのデザイン8種。右下のバラの花の部分に赤、葉に緑の彩色。	
48	メニューカードのデザイン7点。	メニューカードデザインのコンペの入賞作品。上段右から、“ISCA”、“CORIDON”、“DAHOOD”、“BRUSH”、下段は“TATCHO”、“ISCA”、“ISCA”による作品。(S: no. 99, June 1901, p.73-76.)
49	上段：円形の中に描いた女性像2種「NOVEMBRE」「AOûT」、下段：緑のバステルで本の表紙をフロッターージュしたもの「RAFAEL WERK」。	ミュシャ《12ヶ月の絵葉書》(1899年)から11月と8月(『ミュシャ財団秘蔵ミュシャ展パリの夢モラヴィアの祈り』2013-14、日本テレビ放送網、p.81)。ラファエルの本は、Adolf Gutbier, Wilhelm Lübke, <i>Rafael Werk</i> , 3 vol., Leipzig 1882、とみられる。
50	上段右：向かい合わせの女性像、左：母子像、中段、横たわる女性像、下段：円形の枠に女性の横顔。	上段右：ミュシャ《羽根》《桜草》(1899年)(『ミュシャ財団秘蔵ミュシャ展プラハからパリへ華麗なるアール・ヌーヴォーの誕生』2004年、日本テレビ放送網、p.46-7)、中段：ミュシャ《黄昏》(1899年)(『アルフォンス・ミュシャ「生涯と芸術」展』1995年、東京新聞、p.91)、下段：ミュシャ《ビザンティン風の頭部：プロンド》《ビザンティン風の頭部：ブルネット》(1897年)(『ミュシャ財団秘蔵ミュシャ展』2004年、p.38.)
51	上段に花を持つ女性像、下段に本の表紙らしきものを紫と緑のバステルでフロッターージュ。	
52	紙を持って読む女性の横顔、本の表紙などを赤、緑、青でフロッターージュ。背表紙に「RAFAEL WERK」。	
53	本の表紙らしき物を青、赤でフロッターージュ「Sandro Botticelli」。	
54	本の表紙らしき物を紫、緑でフロッターージュ。	
55	本の表紙らしき物を紫、黄でフロッターージュ。	
56	本の表紙らしき物を黒色でフロッターージュ。「HISTORY OF」。	
57	本の表紙らしき物を紫でフロッターージュ。「WEALES/RUDIMENTP/SERIES/PAINTING」などの文字。	
58	本の表紙らしき物を黒色、紫でフロッターージュ。	

59	本の表紙らしき物を黒色でフロッタージュ。「LA MYTHOLOGIE」。	
60	本の表紙らしき物を黒色でフロッタージュ。	
61	上段：本の表紙らしき物を緑でフロッタージュ。「(WI) LLIAM MORRUS」、下段：女性の顔を繰り返し描く。	
62	右上：「DELFTSCHE SLAOLIE」、左上：「HET HOOGELNAD」「BEEK BERGEN」「Affiche」、下段：斧を持つ女性と薔薇の木のデザイン。	右上：Jan Toorop によるデルフトサラダオイルのポスター (1894)。左上：Jan Toorop によるポスター「Het Hoogeland, Beekbergen」(1896) ベークベルゲンにあるリハビリ施設のポスター。
63	本のカバーデザインらしきもの12点。右下に「GARDENS OLD AND NEW」。	二段目左：Walter Crane による“The Shephard’s Calender”の表紙デザイン (S: Special Winter-Number 1899-1900, Modern Bookbindings and their Designers, p.3)。三段目中：Shakespeare, “As You Like It”, designed by Gerald Moira から文字を除いた部分 (S: 同、p.6)、三段目左：Dollie Radford, <i>Good Night</i> , designed by Louis Davis の表紙から文字を除いた部分 (S: 同、p.5)、下段右 “Gardens Old and New” Designed by W. Jenkins (S: 同、p.25)、下段右から2番目：Gertude Dix, <i>The Image Breakers</i> のカバーデザイン (S: 同、p.17)、3番目：キーツ詩集のためのデザイン画 (S: 同、p.13)、下段左：“Dante Gabriel Rosetti” (S: 同、p.11.)
64	本のカバーデザインらしきもの11点。	上段右：Julia Magruder, <i>Miss Ayr of Virginia</i> , designed by F.R. Kimborough (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.53) 上段左：A <i>Dreadful Mistake</i> , designed by Talwin Morris (同、p.23)、3段目左：Designed and Executed by René Wiener (同、p.64)、4段目中：デンマークの装幀から革装の作例の中の表紙の一部 (同、p.77.)
65	植物模様、カット、フリーズなど数種。	
66	植物による連続模様。本のカバーデザインか。上から2段目右：「LOVE LETTER」「The Ballad」騎士騎馬図。下段：チャールズ・レニー・マッキントッシュ風の花の図。	Myrtle Reed, LOVE LETTERS OF A MUSICIAN, designed by Margaret Armstrong, (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.53)、騎士の絵は Mrs. Edith Cuthell, <i>A Bad Little Girl and Her Good Little Brother</i> , designed by W. S. Hadaway, (S: 同、p.53.)
67	右上：植物によるデザイン画、左上：本の表紙「The Ruba’yat of OMAR・KHAYAM/ Translated by Mrs HM Cadell」、右下：「The ROMANCE of SIR DEGREVANT」、左下：「GIOVANNI BATTISTA」花に着色。	上段左：H. M. Cadell 翻訳、オマル・ハイヤム『ルバイヤート』(1899年) Designed by B G. Goodhue (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.51)。右下はイギリスの中世の騎士物語の本のイラストとみられるが出典不明。左下：Designed by W. Jenkins (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.25.)
68	本のデザイン、図案、数種。	上段右、中段左：オランダの装幀から革装の作例 (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.67)、上段左：ベルギーの装幀から革装の作例 (同、p. 68)、下段右：Designed by Talwins Morris (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.24.)
69	本のカバーデザインとみられるもの6点ほど。上段左：「HANNA VON ANNA」、中段右：「ALPHABETS」。	上段左：Designed by Miss Jessie King (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.32)、上段右、中段右、左、下段左、Designed by D. X. MacColl (S: 同、p.33-34)、下段右：Designed by Mrs. MacDonald (同、p.27.)

70	本のカバーデザインとみられるもの数種。 下 段 右：「A LOYAL LITTLE MAID」 中 「LYRKS OF EARTH」。	上段右、左：Designed by Mrs. Traquair (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.29.)
71	本のカバーデザインとみられるもの数種。 右 上：「THE ANNALS OF THE PARISH AND THE AYRSHIRE LEGATEES」左： 「Representative painters of the XIX century」	上 段 左：Designed by Selwyn Image, <i>Representative Painters of the XIX Century</i> (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.7)、 下段：装幀 Designed and Executed by René Wiener (同、p.61.)
72	本のカバーデザインとみられるもの5点 ほど。右上：「HOW TO KNOW THE WILD FLOWERS BY MRS WILLIAM STARRDANA ILLUSTRATED BY MARION SATTERLEE」 下段右：「GREEN ARRAS」。	中 段 右：本 の 装 幀 Designed and Executed by A. Cuzin (S: Special Winter-Number 1899-1900, p.62.)
73	本のカバーデザインとみられるもの8点。 下段右：「Gewerbliche Schulen der Stadt Kre feld」か？	上 段 左：本 の 装 幀 Designed by F. A. Hallin, executed by Karl Gjellerup. (S: no. 99, June 1901, p.56.) 上段右、中段右：レ ターケース Designed by Professor E. Novak. (同、p.59.)
74	本のカバーデザインとみられるもの8点。 上段右：「THE BOOK OF RUTH / THE BOOK」 下段中央：「THE JUNIOR POEMS OF MIL TON」。	上段右、左、本の装幀 by A. de Sauty (S: no. 113, August 1902, p.214.)
75	本のカバーデザインとみられるものなど。 左上の図には赤、紫で着色。左下は聖母 子「MARIA」。	
76	本のカバーデザインとみられるもの8点 ほど。上 段 右 から「DICHITERS VAN DEEINTUD」「HOOG TROEVEN」中 段 左「PSYCHE」など。他はあまり鮮明に書 かれていない。	
77	本のカバーデザインとみられるもの4点。 左 上：「W.BERGER NOVELLEN」左 下： 「PARIS」	
78	本のカバーデザインとみられるもの4点。 左 上：「TOLSTOI JULIUS」左 下：「EINE ZELLSTOFF-REISE NACH SKANDINAVIEN」。	
79	本のカバーデザインとみられるものなど9 点。上段中：「GESCHICHTE VON RUDDEHMEL」。 中段右「SKIZZEN A.D.L」。左「HEINE」 下段右「MASCHINENFAVBRIK」	
80	空欄に題名や著者名などを書き込めるよ うにデザインした、ひな形としてのデザ イン画とみられるもの9点。一部に着色。	
81	空欄に題名や著者名などを書き込めるよ うにデザインした、ひな形としてのデザ イン画とみられるもの9点。一部に着色。	
82	ドイツ語の書き込みのあるデザイン画な ど9点。一部に着色。	
83	植物などの装飾画4点。	



84	空欄に題名や著者名などを書き込めるようにデザインした、ひな形としてのデザイン画とみられるものなど9点。一部に着色。	
85	上段に竖琴と女性の顔を組み合わせた装飾画、下段にアール・ヌーヴォー風の植物デザイン2点。	
86	植物と女性を組み合わせたデザインなど5点。一部に着色。	
87	女性と植物、子供の顔など。上段右の絵の上下：「Children's Books and their illustrations」 「E. SOUTHALL」、上段左の絵の下：「WILLIAM DE MORGAN」、右下「ARTHUR GASKIN」。	上段右：ILLUSTRATION FROM "THE STORY OF BLUEBEARD" BY E. SOUTHALL (LAWRENCE AND BULLEN. 1895) (S: Gleeson White, Children's Books and Their Illustrators, Special Winter-Number 1897-8, p.58)、上段左：ILLUSTRATION FROM "ON A PINCUSHION." BY WILLIAM DE MORGAN (SEELEY, JACKSON AND HALLIDAY. 1877) (同、p.23)、下段中央：ILLUSTRATION FROM "GOULD'S BOOK OF FAIRY TALES." BY ARTHUR GASKIN. (METHUEN AND CO.) (同、p.63)、子供の顔はILLUSTRATION FROM "LITTLE FOLKS." BY MAURICE BOUTET DE MONVEL. (CASSELL AND CO.) (同、p.62)
88	上：中世風のイラストの模写4点、下：飛ぶ鴉。	イラストは18世紀のチャップ・ブック "ROBINSON CRUSOE" から。 Gleeson White, Children's Books and Their Illustrators, (S: Special Winter-Number 1897-8, p.5-6.)、飛ぶ鴉は、ILLUSTRATION FROM "RUSSIAN FAIRY TALES" BY C. M. GERE (LAWRENCE AND BULLEN. 1893) から鳥だけを抜き出す (同、p.49.)
89	アールヌーボー風の装飾デザイン、戯画風の顔など。「AKD」と顔を組み合わせるデザイン。	
90	アルファベットのレタリング、植物模様、「AKD」と顔を組み合わせるデザイン。	
91	祈るような女性像の下に「PAN」。	
92	白紙。	
93	白紙。	

藤島武二《画稿帖》右から p.36, 37.

藤島武二《画稿帖》 p.39.

藤島武二《画稿帖》 p.40, 41.

藤島武二《画稿帖》 p.42, 43.

藤島武二《画稿帖》 p.44, 45.

藤島武二《画稿帖》 p.46, 47.

藤島武二《画稿帖》 p.48, 49.

藤島武二《画稿帖》 p.50, 51.

藤島武二《画稿帖》 p.52, 53.

藤島武二《画稿帖》 p.54, 55.

藤島武二《画稿帖》 p.56, 57.

藤島武二《画稿帖》 p.58, 59.

藤島武二《画稿帖》 p.60, 61.

藤島武二《画稿帖》 p.62, 63.

藤島武二《画稿帖》 p.64, 65.

藤島武二《画稿帖》 p.66, 67.

藤島武二《画稿帖》 p.68, 69.

藤島武二《画稿帖》 p.70, 71.

藤島武二《画稿帖》 p.72, 73.

藤島武二《画稿帖》 p.74, 75.

藤島武二《画稿帖》 p.76, 77.

藤島武二《画稿帖》 p.78, 79.

藤島武二《画稿帖》 p.80, 81.

藤島武二《画稿帖》 p.82, 83.



藤島武二《画稿帖》p.84, 85.

藤島武二《画稿帖》p.86, 87.

藤島武二《画稿帖》p.88, 89.

藤島武二《画稿帖》p.90, 91.

図1 Louis John Rhead による『Morning Journal』  
誌の広告画（1895年）

図2 Henri Privat-Livemont に  
よるアプサントの広告画  
（1896年）

図3 藤島武二《音楽六題》1901-6年、ひろしま美術館 のうち  
「ピアノ」「三味線」

図4 藤島武二装幀、与謝  
野晶子『春泥集』  
1911年、金尾文淵堂

図5 藤島武二装幀、与謝野  
晶子『青海波』1912年、  
有朋館

図6 A. Cuzin による本の装幀 *The Studio : Special Winter-Number*  
1899-1900, p.62.

図7 藤島武二装幀、与謝野晶子『晶子短歌全集』第3  
巻、1920年、新潮社

図8 *The Studio : Children's Books and Their*  
*Illustrators, Special Winter-Number 1897-8,*  
p.49. C. M. GERE による『ロシアの童話』(1893)  
の挿図

